

エネルギーハーベスティングの新展開

2022年9月20日（火）9時00分～17時00分（予定）

東北大学 川内北キャンパス

エネルギーハーベスティングは、周辺環境から微小なエネルギーを得て電力に変換する技術のことです。熱や振動、電波、室内光などの異なるエネルギー源について、個別に材料開発から応用まで議論されることが多いなか、共通の課題と棲み分けに関する議論は重要です。

本シンポジウムでは、情報共有・議論などを行う場を提供し、本テーマに関心のある方々との議論を通じて、共同研究促進、人的ネットワークキングなどにより、本分野の発展を図ります。

- ・内田健一（NIMS）
スピнкаロリトロンクスによるエネルギーハーベスティング
- ・李哲虎（産総研）
低熱伝導率材料を用いた熱電モジュール
- ・石橋孝一郎（電通大）
RFエネルギーハーベスティング技術とIoT応用の新展開
- ・岡本敏宏（東大）
バンド伝導性有機半導体を用いたハイブリッド型環境発電素子
- ・田中優実（東理大）
ペロブスカイト型希土類アルミネートを用いた薄膜エレクトレット
- ・小野新平（電中研）
スマートメカトロニクスを基盤とした振動発電素子
- ・田中裕二（リコー）
フレキシブル色素増感型太陽電池
- ・南部修太郎（Eサーモジェンテック）
IoT用フレキシブル熱電発電モジュール

企画

エネルギーハーベスティング研究グループ
フォノンエンジニアリング研究会

世話人

鈴木 雄二（東大）
秋永 広幸（産総研）
野村 政宏（東大生研）
田中 有弥（群馬大）